

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第51回（令和2年度第2回）理事会議事録

日 時：令和2年6月27日（金） 14：20～16：20

開 催：web 会議

東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバン 4 階

出席者：大賀正一（理事長）、米田光宏、滝田順子（副理事長）

井上 健、小川千登世、奥山宏臣、康 勝好、塩飽 仁、高橋義行、滝 智彦、
多賀 崇、菱木知郎、湊本康史、藤 浩、松本公一、盛武 浩（以上理事）

檜山英三（監事・第61回学術集会会長）

足立壯一、天野功二、今泉益栄、大植孝治、小野 滋、上條岳彦、上別府圭子、
木下義晶、西川 亮、副島俊典、細井 創、真部 淳、菊田 敦（第62回学術集会会
長）、越永従道（第64回学術集会会長）（以上オブザーバー）

欠 席 者：井上雅美（第63回学術集会会長）

冒頭に、本日の理事出席者数は16名中16名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事大賀 正一は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 審議事項

1. 理事長（代表理事）選定の件

議長は、新たに理事長を選定する必要がある旨を述べ、議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって選定された。

理事長 大賀 正一

選定後、理事長 大賀 正一より、理事長就任の抱負が述べられた。

2. 副理事長選定の件（理事長）

議長は、新たに副理事長を選定する必要がある旨を述べ、議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって選定された。

副理事長 米田 光宏

副理事長 滝田 順子

議場より、緊急時に理事長業務を代行する副理事長を予め決めておく必要があるとの指摘があった。年齢や経験を考慮し米田光宏がその任にあたる案が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

3. 前回理事会議事録（案）の確認

議長より、前回議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

4. 欠員領域 2 名の理事および監事の件

議長より、新旧理事対照表が示され、議場に意見が求められたところ、以下の討議がなされた。

議長より脳外科領域・他臨床領域のそれぞれ 1 名ずつ理事候補ならびに監事も 1 名欠員となり、内諾について厳しい状況ではあるが、対応案として脳外科領域を西川亮先生、他臨床領域については、天野功二先生からの推薦で余谷暢之先生を候補としていることが報告された。また、その他の臨床領域に関しては、評議員(多職種での領域)の中での理事候補対象者について今後の検討事項となった。

また、監事が 2 名であることは必須と思われ、在京の方で迅速に対応できるという条件で金兼弘和先生を推薦する方向で内諾をいただいた。ただし、監事として正式就任するためには社員総会での議決が必要である。

議場より、欠員理事ならびに監事については、理事会継続のため、オブザーバーとして参加していただき、秋の社員総会で正式就任する提案が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

5. 各委員会の引継ぎ

議長より、委員会案が示され、議場に意見が求められたところ、以下の討議がなされた。

常設委員会：

議長より、担当理事へは事前に内諾をいただき、委員長案も事前に担当理事へ相談し内諾を得た旨報告があった。ただし、副担当理事については現在調整中である。

議場より、担当理事と副担当理事の職務権限について意見があり、委員会の最終責任は担当理事が負うものとする、副担当理事の設置については委員会の継続性を維持することが説明され、了承された。

委員会の委員選定については、担当理事・副担当理事・委員長のもと、副委員長・委員を選定する旨、議長より提案があり了承された。

疾患小委員会：

議長より、委員会の委員の任期が示され、議場に意見が求められたところ、以下の討議がなされた。

議場より、現在ホームページに掲載されている任期と実際の委員の任期に差異があることが示され、改めて公募を行う必要があるが、今回特例として秋の臨時社員総会まで現在の委員の任期を延長することが提案され、異議なく承認された。

理事長諮問委員会：

議長より、委員会案が示され、議場に承認が求められたところ、異議なく承認された。なお、委員構成については今後も継続審議していくこととなった。

議場より、現在ホームページに掲載されている任期と実際の委員の任期に差異があることが示され、改めて公募を行う必要があるが、今回特例として秋の臨時社員総会まで現在の委員の任期を延長することが提案され、異議なく承認された。

また、女性医師活躍委員会の設立が提案され、承認された。メンバーに関しては、今後の検討事項となった。

II. 報告事項 1. 本年度の学会開催について

学術集会プログラム委員会の米田委員長より、以下の報告がなされた。

- ・本年度の学術集会について、現地開催予定の方向で進めている。
- ・コロナ感染の影響で現地開催が不可能な場合、webでの開催についても検討中であり、費用について見積依頼を行っている。現地開催できない場合は開催費用を考慮して一方通行型のオンデマンド配信にて行う方向で検討中。
- ・配信期間は1週間（予算上可能であれば2週間程度）を想定している。
- ・開催方法については、7月末までに学術集会プログラム委員会で審議を行った後理事会に答申し、理事会での審議（場合によってメールでの審議）を経て決定する。

第62回学術集会菊田会長より、オンデマンドのメリットとして、配信期間内であればいつでも視聴することが可能であることが報告された。

議場より、webで開催した場合の学会単位について、参加者に対して学会単位を広く認めるべきではとの意見があり、参加者を増やすためにもなるべく増やすべきではないかという提案があった。

また、海外からの招聘についても、4名招聘予定ではあるが、他学会では海外からの招聘を中止しwebでの参加を決定したことや、新型コロナウイルス感染症による入国審査など状況が読めないため、現状では難しいという意見があった。

以上の意見を踏まえて、開催方法について、学術集会プログラム委員会ならびに理事会で引き続き検討していくこととなった。

2. その他

1) テキスト小児血液・腫瘍学（2015年初版）の改訂について

議長より、テキスト小児血液・腫瘍学（2015年初版）の改訂について提案がなされ、今後の検討課題となった。

2) 小児用医療機器に対する医療ニーズ・医療実態調査について

診療ガイドライン委員会と今泉先生とで実態調査を進めていく。

3) 日本医師会より「令和2年度医学生、研修医等をサポートするための会」について

今回の学会での連携について、理事会・学術プログラム委員会・菊田先生（第62回学術集会委員長）と今後検討を行う。

4) 日本医学会よりの「学術プログラム構成に関するアンケート（第31回日本医学会総会）」について学術集会プログラム委員会米田委員長と理事会にて検討し回答を行う。

5) 脳腫瘍のパブリックコメントについて

回答期間を7月31日まで延長し、会員へ向けてパブリックコメントの募集行っていく。

3. 今後の理事会予定について

議長より、資料をもとに、次回の理事会日程について議場に意見が求められたところ、学術集会までは月1回程度、原則として金曜日の午後で開催することとし、次回は7月31日(金)15時からweb会議にて開催してはどうかとの提案があり、異議なく承認された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。